

## 個人投資家様向け会社説明会



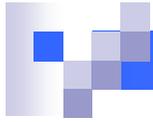
株式会社 **大気社**

東証1部(証券コード:1979)

2016年7月9日

## ～ 本日も説明する内容 ～

1. 当社事業の紹介
2. 当社の強み
3. 成長戦略
4. 新・中期経営計画



# 1. 当社事業の紹介

## 1-1. 会社概要

会社名	株式会社大気社
代表者	上山 悟
本社所在地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
創業	1913年(大正2年)4月10日
株式	東証1部上場 (証券コード:1979)
資本金	64億55百万円
連結年間売上高	2,124億円 (2016年3月期実績)
従業員数	個別1,484名 連結4,892名 (2016年3月31日現在)
連結子会社	37社 (国内3社 海外34社) (2016年3月31日現在)
事業内容	ビル空調設備、産業空調設備、自動車用塗装システムにおける諸設備・装置の設計・施工・監理

## 1-2. 事業分野

### 3つの分野で安定した経営を行なっています

環境システム事業



#### ①ビル空調

オフィスビルをはじめ、学校、病院、ホテル、美術館、空港ターミナルなど、さまざまな施設の中で、**人が快適に過ごすための空調設備の設計、施工を行なっています。**

★都心の再開発計画など案件は豊富。

#### ②産業空調

半導体、医薬品など、生産環境において高い清浄度や一定の温湿度、室圧の制御などが要求される生産工場や研究施設を対象にクリーンルームなど**“モノづくり”にとって最適な空調設備の設計、施工を行っています。**また公害防止装置などの環境保全装置にも注力しています。

★製薬や電気・電子分野での設備投資は増加傾向。



塗装システム事業

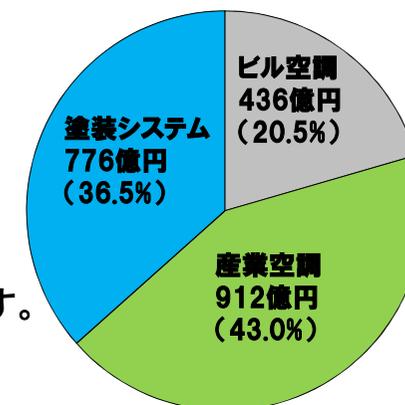


#### ③塗装システム

国内自動車メーカー、米国、欧州、韓国、中国、インドなどの自動車メーカーの**大型塗装プラント**の設計・施工を国内外で手がけています。省エネルギーと高度な公害防止機能を調和させる大気社の自動車塗装プラントは、世界トップクラスの売上を誇ります。

★世界における自動車の生産台数は今後も増加する見込み。

完成工事高(売上高)の構成  
(2016年3月期実績)



## 1-3. 主要顧客①

### ①ビル空調分野

主なお客さま

不動産会社、金融機関、百貨店、総合スーパー、病院、学校、  
鉄道会社、データセンター、官公庁など



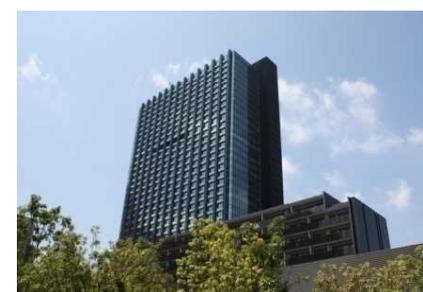
梅田阪急ビル



ヨドバシ梅田



六本木ヒルズ



住友不動産新宿グランドタワー



東京ミッドタウン



ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ  
(シンガポール)



ペトロナスツインタワー  
(マレーシア)



スワンナプーム国際空港  
(タイ)

## 1-3. 主要顧客②

### ②産業空調分野

#### 主なお客さま

キヤノン、ソニー、パナソニック、富士通、NEC、村田製作所、日東電工、ローム、武田薬品工業、富士フイルムホールディングス、本田技研、住友化学、大日本印刷、日本写真印刷、帝人、東洋紡など



キヤノン下丸子新開発棟



ソニーディスプレイデバイス  
シンガポール



武田薬品工業  
湘南研究所



昭和シェルソーラー  
CIS太陽電池第2工場



日産自動車  
日産先進技術開発センター



バイオポリス  
シンガポール



ミネベアカンボジア



資生堂ベトナム

## 1-3. 主要顧客③

### ③塗装システム分野

#### 主なお客さま

トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業、マツダ、スズキ、三菱自動車工業、富士重工業、いすゞ自動車、日野自動車、現代自動車、タタモーターズ、プジョーシトロエン、ルノー、ダイムラー、中国現地資本自動車メーカーなど



トヨタ車体  
富士松工場



日産ノースアメリカ  
カントン



本田メキシコ



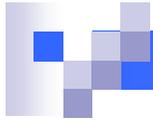
PCMAロシア



ダイムラーインド



東風日産自動車  
花都第2工場



## 2. 当社の強み

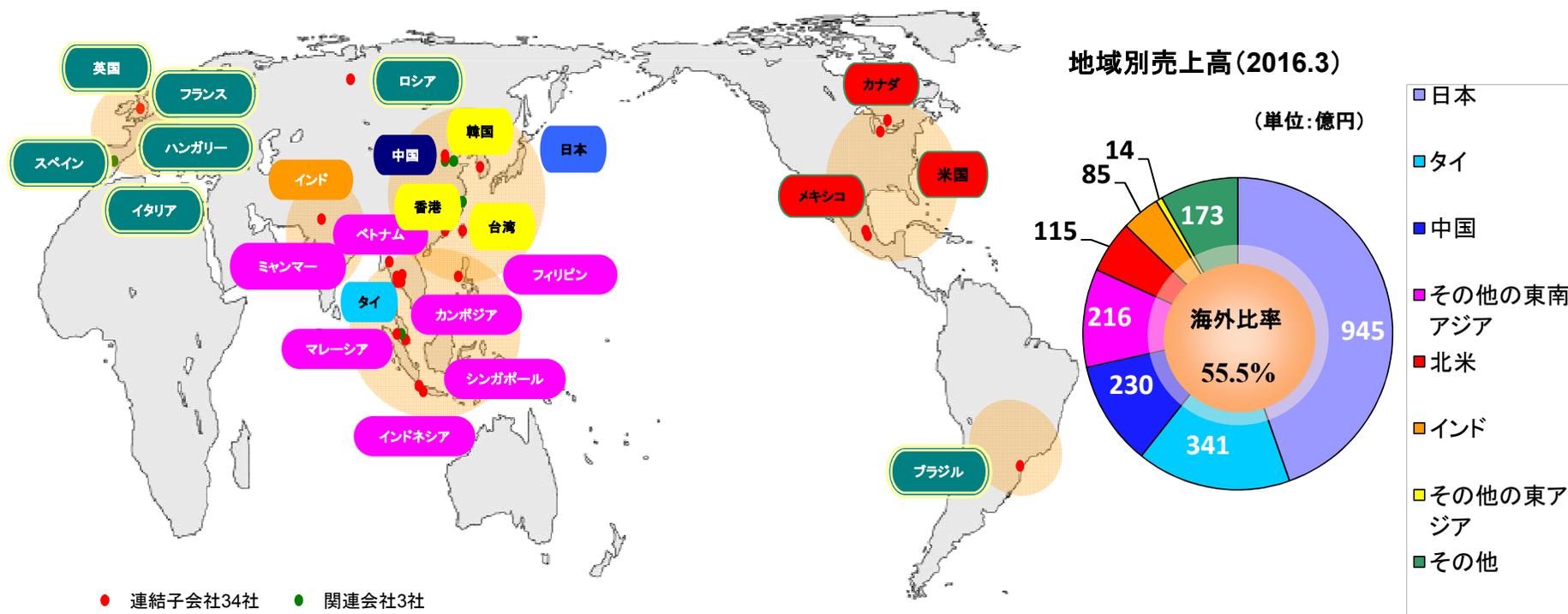
## 2. 当社の強み

---

1. 強力なグローバルネットワーク
2. 世界第2位の売上げを誇る  
自動車塗装プラント事業

## 2-1. 強力なグローバルネットワーク

- ・建設業の中で当社は**海外売上比率が極めて高いことが特徴**で、同業他社に比べ圧倒的に多い**19カ国に34の海外連結子会社**を有しています。(2016年3月末現在)  
 (2016年3月期の海外売上比率は**55.5%**)  
 最初に海外に拠点を設立したのはタイ国で、1971年のことでした。
- ・日系メーカーの海外展開が加速する中、これらのグローバルネットワークが、海外プロジェクトの受注に大きく貢献しています。

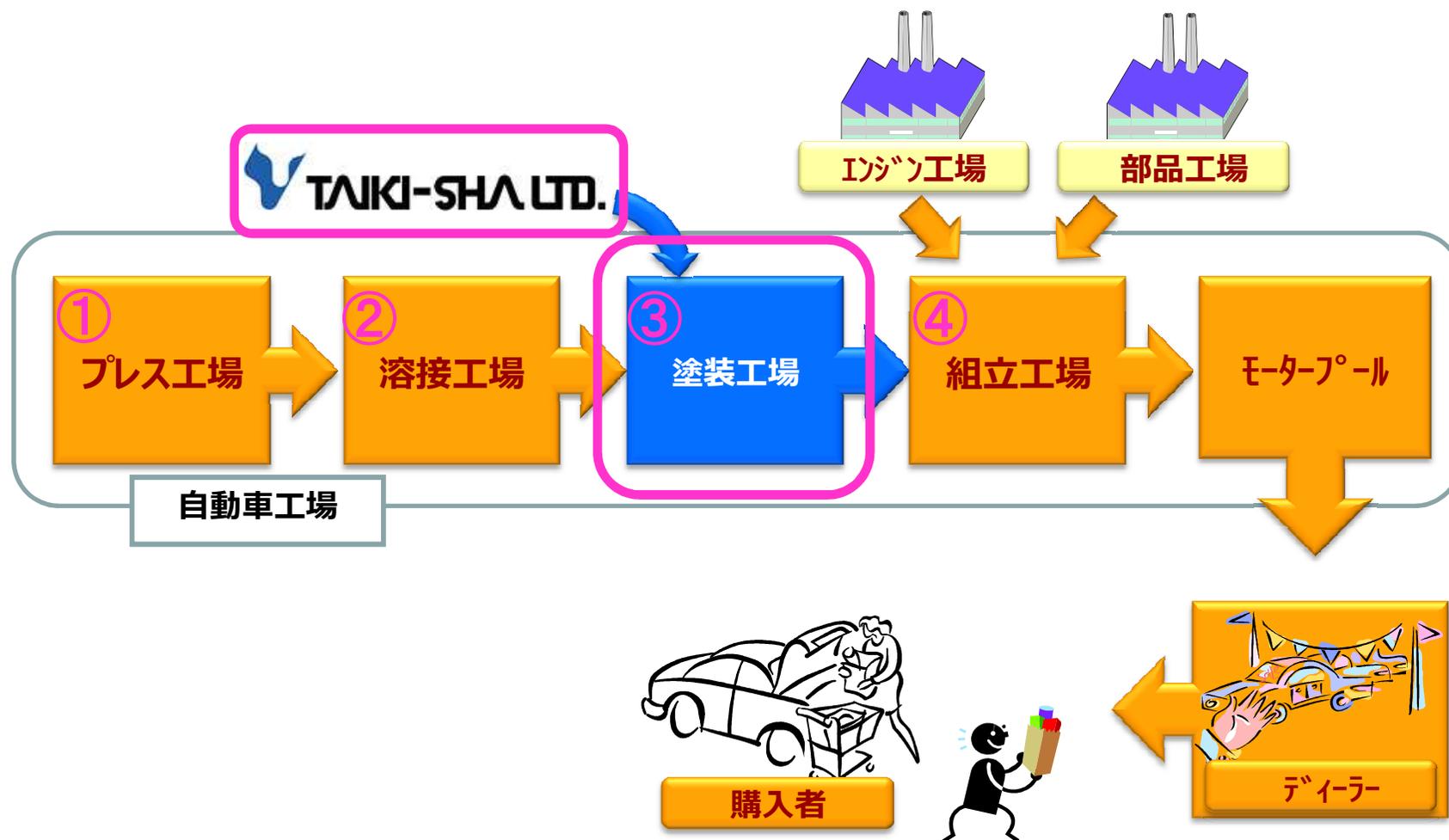


## 2. 当社の強み

### 1. 強力なグローバルネットワーク

### 2. 世界第2位の売上げを誇る 自動車塗装プラント事業

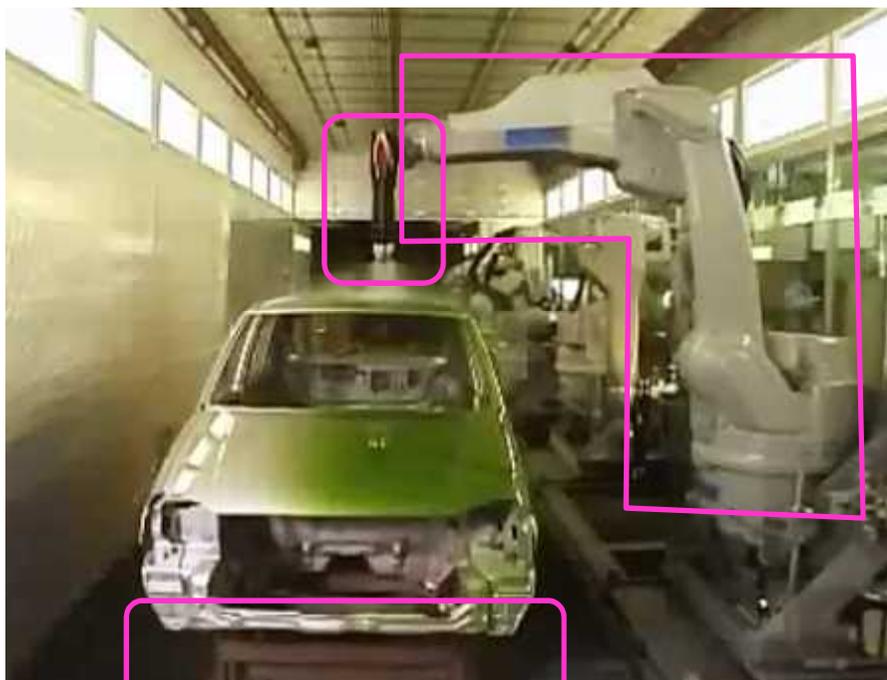
## 【映写のみ】自動車生産工場における塗装工場



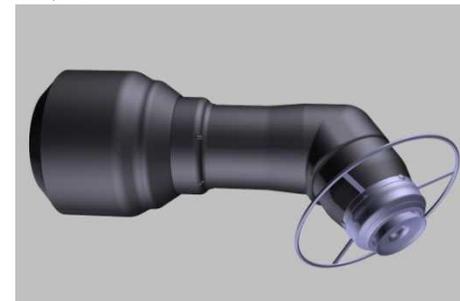
## 2-2. 世界第2位の売上げを誇る自動車塗装プラント事業①

### 自動車塗装ラインの一括受注が可能

- 塗装ロボット



- 塗装スプレー



- コンベア

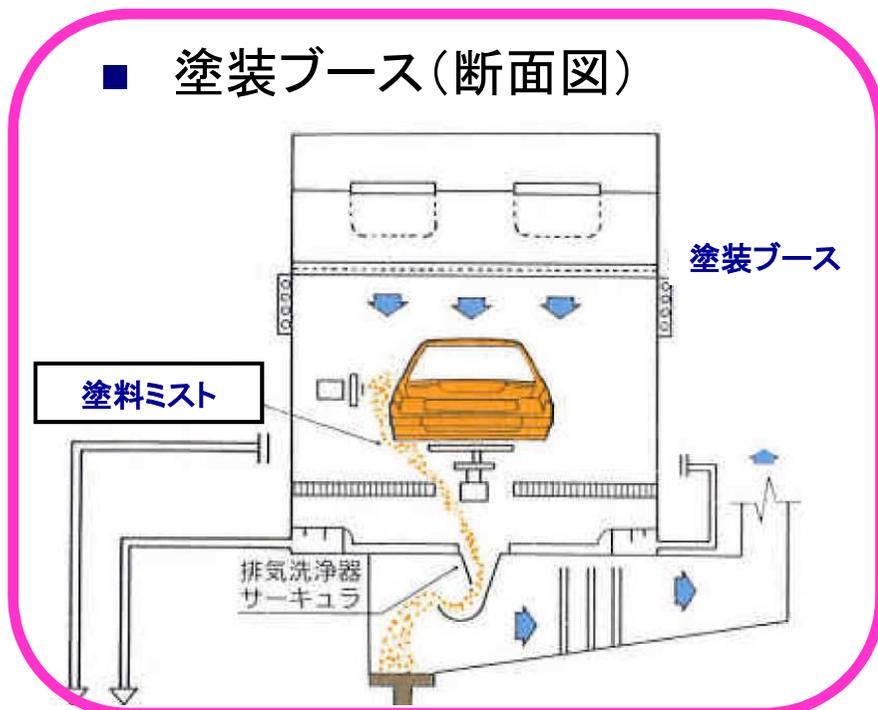


### 自動車塗装システムで国内トップ・世界第2位の売上

世界の自動車生産台数は、2015年に約8,800万台でしたが、5年後の2020年には1億台を超えると言われており、引き続き当事業の成長を見込んでいます。

## 2-2. 世界第2位の売上げを誇る自動車塗装プラント事業②

### ■ 塗装ブース(断面図)



### ■ オーブン(乾燥炉)



### 塗装システムには各種空調の技術が活かされている

#### 【塗装ブース】

- ・ブース内は高い清浄度を保ち、ボディへの埃の付着を防ぐ。
- ・最適な温湿度を保つ。
- ・天井から床下への気流の流れをつくり、塗装時に付着しなかった塗料ミストを拡散させることなく、速やかに除去する。

#### 【オーブン(乾燥炉)】

- ・最適な温湿度の空気で、塗装したボディの塗膜をむらなく乾燥させる。



## 3. 成長戦略

## 3-1. 環境システム事業における成長戦略①

### ①成長する海外市場向けの体制拡充 (1/2)

#### Taikisha (Cambodia) Co., Ltd.(大気社カンボジア)の設立



**新たな市場での  
受注獲得を目指して**

インドシナ半島の南部に位置し、西にタイ、東にベトナムと国境を接するカンボジア。当社は、2011年6月、カンボジアのプノンペンに連結子会社Taikisha (Cambodia) Co.,Ltd. (当社100%出資)を設立しました。

ASEAN加盟国の一つであるカンボジアは、経済特別区の整備や付加価値税の軽減など、外資系企業の誘致に向けた積極的な優遇策を実施しています。また、同国の保有する豊富な天然資源と労働力を背景に、日本の製造業の進出が相次いでいます。当社で



は、今後も日系メーカーをはじめ、多くの海外企業が、カンボジア市場に新たに進出すると見込んでいます。

今回設立した子会社は、カンボジアで現地に根ざした経営を行うことにより、新たな市場で環境システム事業の受注機会を高めることを目的としています。同時に、リニューアル工事などのサービスにも注力し、お客さまの満足度と信頼の向上も目指します。

今後、新たな市場で、既存のお客さまだけでなく新規のお客さまからも受注できるよう、事業活動を行っていきます。

## 3-1. 環境システム事業における成長戦略②

### ①成長する海外市場向けの体制拡充 (2/2)

#### Taikisha Myanmar Co., Ltd.(大気社ミャンマー)の設立



#### Taikisha Myanmar Co., Ltd.(大気社ミャンマー)

大気社ミャンマーは、2013年12月に設立した、連結子会社です。

事業内容は空調設備、電気設備、衛生設備、塗装設備の設計・施工・メンテナンスサービスとなっております。大気社グループは、タイ、ベトナム、カンボジア、シンガポール、マレーシア、インドなど周辺諸国に連結子会社を有しており、ミャンマーにおける事業活動に対して万全のサポート体制が整っています。その優位性を生かし、積極的に営業活動を展開してまいります。



大気社ミャンマー開設記念パーティー

## 3-1. 環境システム事業における成長戦略③

### ②新規事業の立ち上げ

#### 完全人工光型植物工場事業への参入

当社は2009年6月より当事業について研究開発を行ってきました。

これまで不可能と言われてきた完全人工光型植物工場での結球レタスの安定量産化技術を確立。国内だけでなく海外のお客さまもターゲットに、「大気グリーンファーム」の製品名で植物工場システムを販売しております。

2015年3月には、ベトナムにおいて、大気社グループ初となる海外でのプロジェクトを受注いたしました。

#### 《製品特長》

##### ・高効率反射板

高効率反射板で、蛍光灯の光を高照度で効率よく植物に与えます。

##### ・空調システム

局所均一空調で、多段に設置された栽培棚の温度ムラをなくします。



完全人工光型植物工場

## 3-2. 塗装システム事業における成長戦略①

### ①グローバル対応と受注活動の強化

2011年5月、塗装設備会社であるGeico S.p.A.社(本社:イタリア・ミラノ市)と業務・資本提携(大気社の出資比率は51%)を行いました。この提携は、両社の持つ技術面および市場面での強みを補完し、さらに強化することを目的としています。

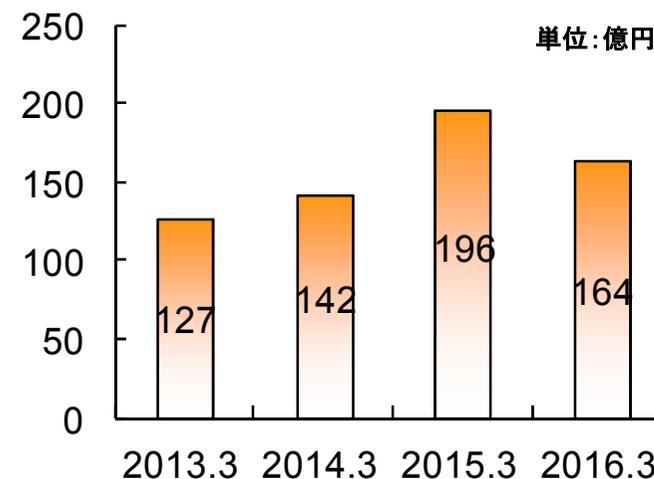
#### ◀Geico S.p.A. 社の強み▶

・イタリア、フランス等の欧州系自動車メーカーに数多くの実績がある。



Geico社の研究施設

Geico社グループの完成工事高



## 3-2. 塗装システム事業における成長戦略②

### ②事業領域の拡大

2014年6月、Encore Automation LLC社(本社:アメリカ ミシガン州)と業務・資本提携(大気社の出資比率は51%)を行いました。

Encore社は当社の塗装システム事業部のオートメーション事業所と同じロボットアプリケーションシステムのエンジニアリング会社であります。

Encore社との協業により、今後北米市場において、塗装システムのロボットアプリケーション事業の更なる拡大、アフターサービス体制の一層の拡充を推し進めてまいります。

さらに、当社海外ネットワークを通じ、Encore社固有技術の北米以外の地域での海外展開の拡大を目指します。

《Encore社の独自技術》

1. 航空機自動塗装システム

2. 自動ワイピングシステム

⇒塗装前に塗装面の埃を除去するシステム

3. 自動ポリッシングシステム

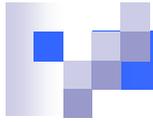
⇒塗装前に塗装面を磨き、塗装の仕上がりを向上させるシステム

《Encore社の主な取引先》

北米系自動車メーカーおよび航空機メーカー



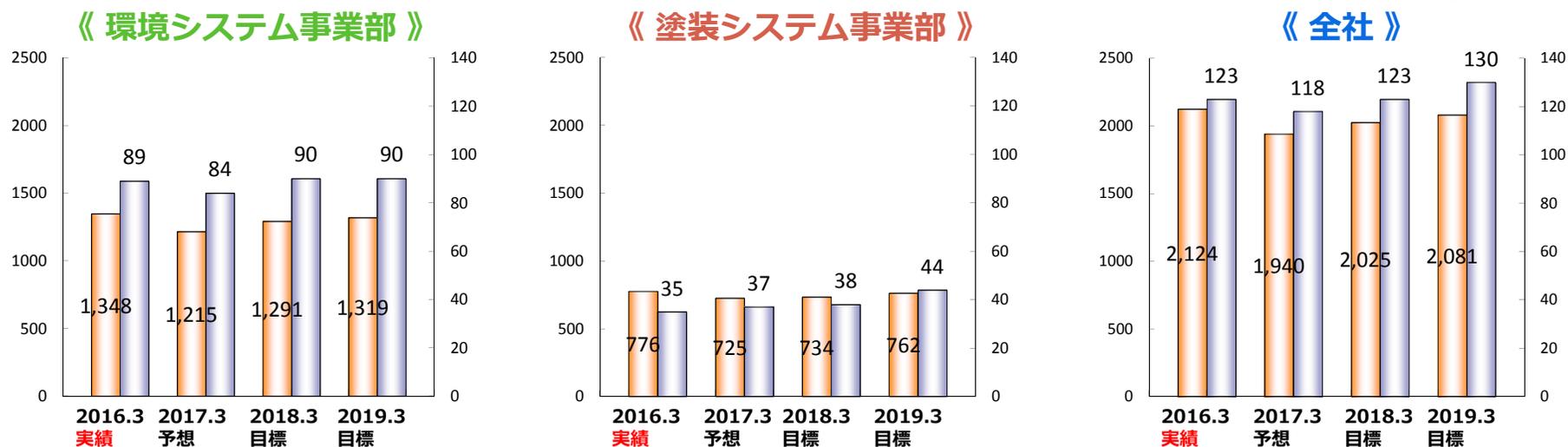
航空機自動塗装システム



## 4. 新・中期経営計画

## 4-1. 経営数値目標(連結)

単位：億円

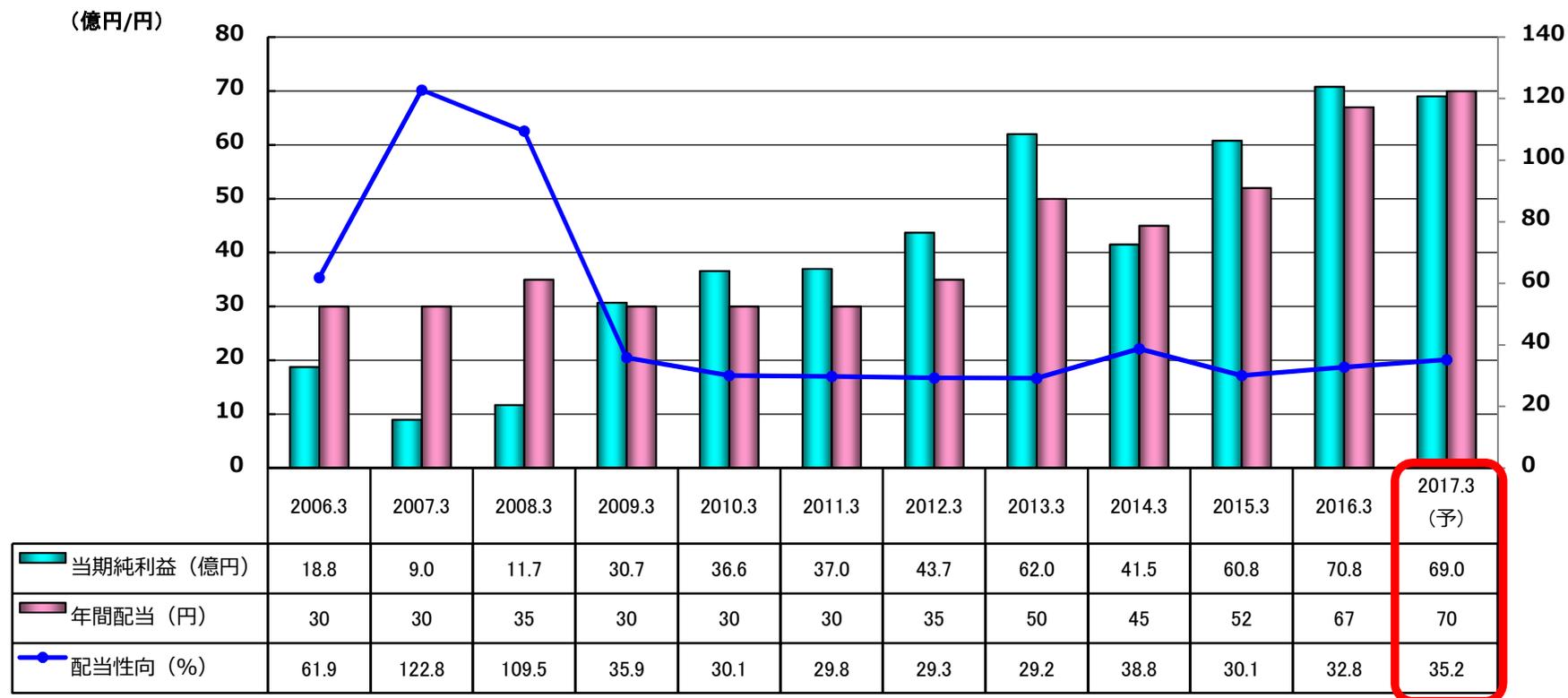


: 完成工事高(外部顧客への売上高・左軸)
  : 経常利益(右軸)

(想定為替レート：1USドル=108円、1ユーロ=122円、1タイバツ=3.06円)  
 (2016年3月期平均レート：1USドル=121円、1ユーロ=134.65円、1タイバツ=3.54円)

	2016年3月期(実績)			2017年3月期(予想)			2018年3月期(目標)			2019年3月期(目標)		
	環境システム	塗装システム	全社									
受注工事高	1,327	890	2,217	1,283	719	2,002	1,341	744	2,085	1,379	751	2,130
完成工事高	1,348	776	2,124	1,215	725	1,940	1,291	734	2,025	1,319	762	2,081
営業利益	85	45	127	82	36	111	87	36	116	87	43	123
経常利益	89	35	123	84	37	118	90	38	123	90	44	130
当期純利益	-	-	70	-	-	69	-	-	71	-	-	75

## 4-2. 配当性向と自社株取得



- ・連結配当性向35%を目標とし、安定的な配当を実施する。
- ・自社株取得は、資本効率の向上と機動的な財務政策の実現を目標とし、弾力的に実施する。

## 4-3. 自社株式の取得・消却実績

### 取得実績

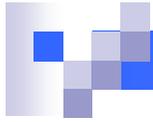
実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2005年12月	40	1,933	77
2006年 2月	597	1,780	1,062
2006年7,8月	500	1,401	700
2011年 8月	300	1,576	472
2012年11月	600	1,614	968
2013年12月	800	2,170	1,736
2015年5月	680	3,245	2,206

### 消却実績

実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2008年 8月	1,200	1,593	1,912

### 処分実績 (ESOPにて)

実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2013年 2月	180	1,860	334



(参考)

## 参考－1. 事業を通じた環境貢献①

### 中国や東南アジアを中心に広がる排気処理技術

世界中で環境規制が厳しくなるなか、今後、海外でのVOCなどの有害な排気を処理する装置の需要は一層の増加が見込まれます。



VOC処理装置

#### 【VOCとは】

揮発性有機化合物。溶剤や燃料など、さまざまな分野で使用されているが、大気汚染や人体への健康被害の原因として問題視されています。

## 参考-1. 事業を通じた環境貢献②

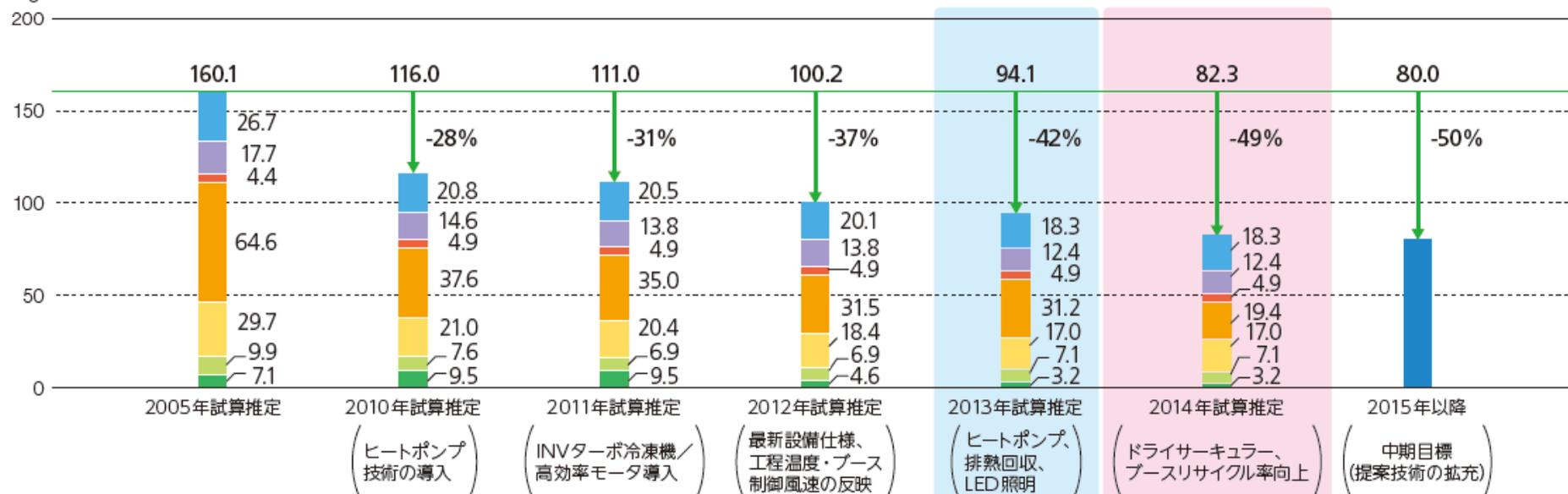
### 自動車製造工場の塗装工程におけるCO2排出量の削減

当社の技術提案の積み重ねにより、自動車生産台数1台あたりの塗装工程におけるCO2排出量が**2005年比で49%削減**

#### ▶ CO<sub>2</sub>排出量の変化

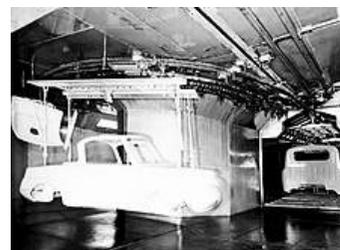
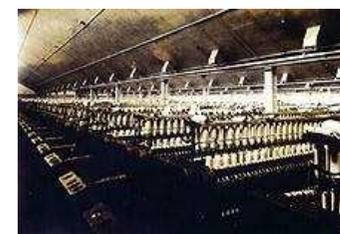
■ 前処理 ■ 電着 ■ オープン ■ メインブース・空調器 ■ フラッシュオフ ■ 簡易ブース・空調器 ■ その他

(kg-CO<sub>2</sub>/台)



## 参考－2. 創立以来100年の歴史①

年	沿革
1913年(大正2年)	<p><b>「合資会社建材社」創業</b></p> <p>4月10日東京銀座で創業。 暖房設備、エレベータ、建築材料等のドイツからの輸入、およびその据付を主な業務とする。</p>
1918年(大正7年)	<p><b>建築設備事業を本格的に開始</b></p> <p>わが国初の近代的高層オフィスビルである「東京海上ビル」に、7階建て全館強制循環式温水暖房という画期的な設備を納入。高度な設計・施工能力を持つ暖房設備会社として認められるようになる。</p>
1934年(昭和9年)頃	<p><b>「繊維の時代」を支える</b></p> <p>紡績工場の空調への取り組みを強化し、製糸工程で重要となる工場内の温湿度制御や気流制御に関する高い技術力が顧客に評価され、この分野で業績を急拡大させた。 (産業空調分野進出の契機となった)</p>
1953年(昭和28年)	<p><b>自動車の塗装設備事業に進出</b></p> <p>日産自動車オースチン工場スプレーブース(塗装室)を受注。 塗装プラント事業に乗り出す。</p>



## 参考－2. 創立以来100年の歴史②

年	沿革
1954年(昭和29年)頃	<b>クリーンルーム事業の拡大</b> 薬品工場、精密機械工場、フィルム工場などでは、製品不良を防ぐため、高い清浄度を維持できる空調設備(クリーンルーム)が求められこれに応えるようになった。 「産業空調の建材社」と呼ばれるようになる。
1960年(昭和35年)頃	<b>国内の全乗用車メーカーから塗装設備を受注するようになる</b>
1971年(昭和46年)	<b>タイに初めて海外子会社を設立</b>
1973年(昭和48年)	<b>創立60周年を機に、社名を『株式会社大気社』に変更</b>
1974年(昭和49年)	<b>東京証券取引所市場第二部に上場</b>
1980年(昭和55年)	<b>東京証券取引所市場第一部銘柄に指定替え</b>
1981年(昭和56年)	<b>米国に進出、海外展開を加速させる</b>
1994年(平成 6年)	<b>中国・北京に合弁会社五洲大気社工程有限公司を設立</b>
2011年(平成23年)	<b>Geico S.p.A.社(イタリア・ミラノ)と業務・資本提携</b>
2013年(平成25年)	<b>創立100周年を迎えた(新中期経営計画を発表)</b>
2014年(平成26年)	<b>Encore Automation LLC(米国ミシガン州)と業務・資本提携</b>



おかげさまで

**100**<sup>th</sup>  
anniversary

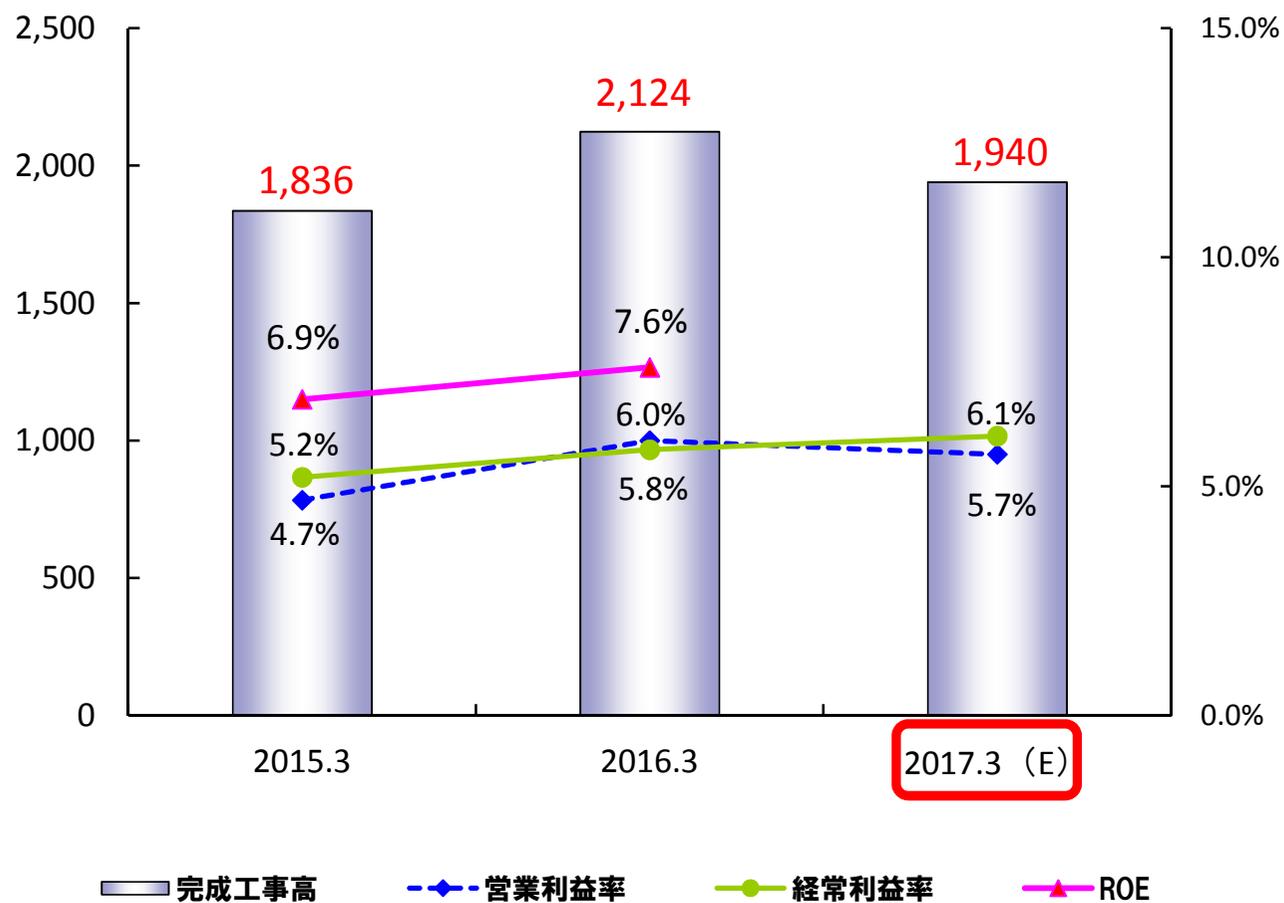
## 参考－3. 完成工事高と各種利益の推移

単位：億円

科 目	2015.3	2016.3	2017.3 (予想)
<b>完成工事高</b>	1,836	2,124	1,940
<b>環境システム事業部</b>	1,161	1,348	1,215
<b>ビル空調</b>	408	436	374
<b>産業空調</b>	753	912	841
<b>塗装システム事業部</b>	675	776	725
<b>営業利益</b>	86.6	127.3	111.0
<b>(同率)</b>	4.7	6.0	5.7
<b>経常利益</b>	95.7	123.4	118.0
<b>(同率)</b>	5.2	5.8	6.1
<b>当期純利益</b>	60.8	70.8	69.0
<b>ROE(%)</b>	6.9	7.6	-

## 参考-4. 主な経営指標の推移

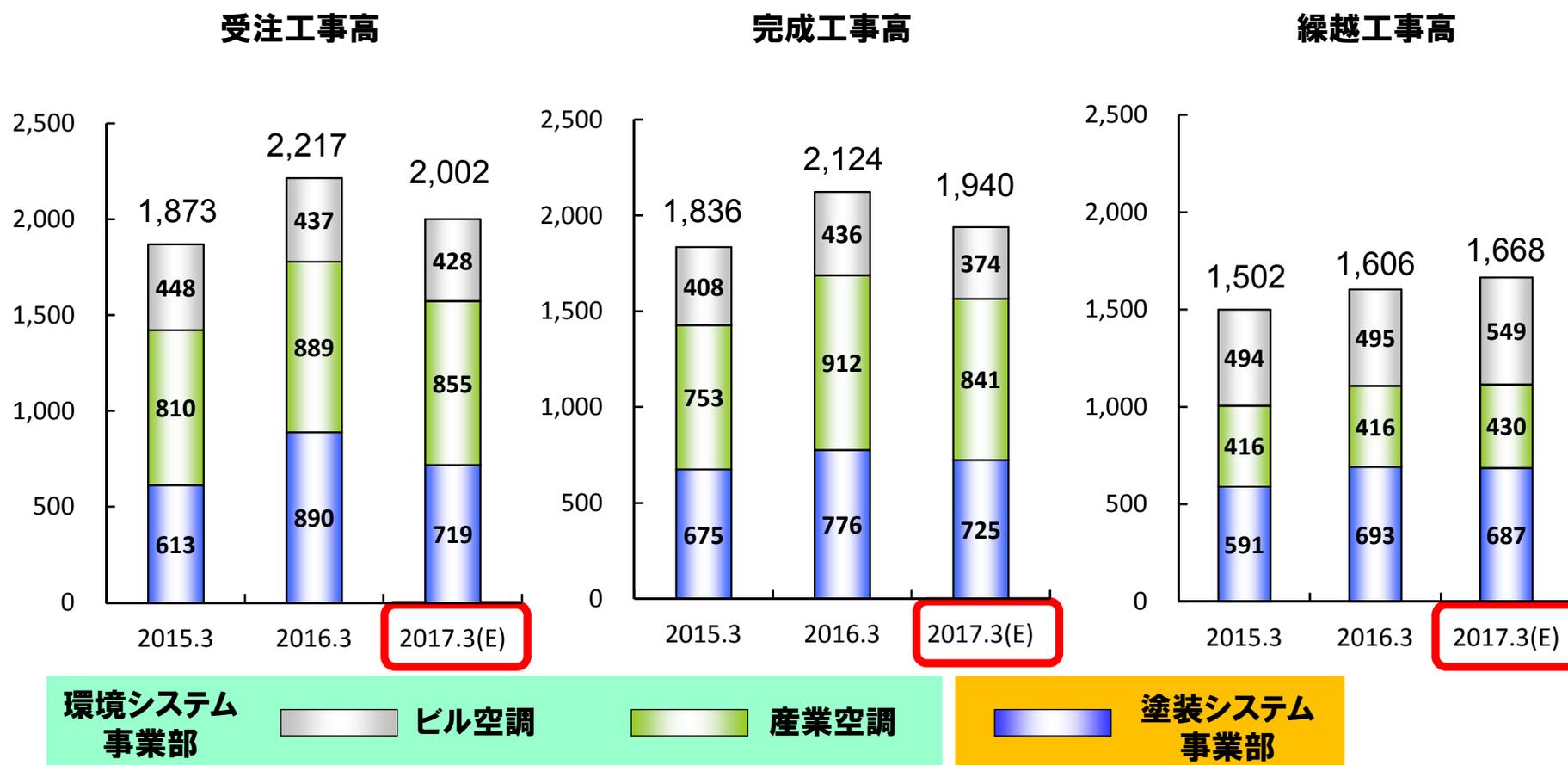
単位：億円



## 参考－5. 事業別の業績の推移①

### 受注工事高・完成工事高・繰越工事高の推移

単位：億円

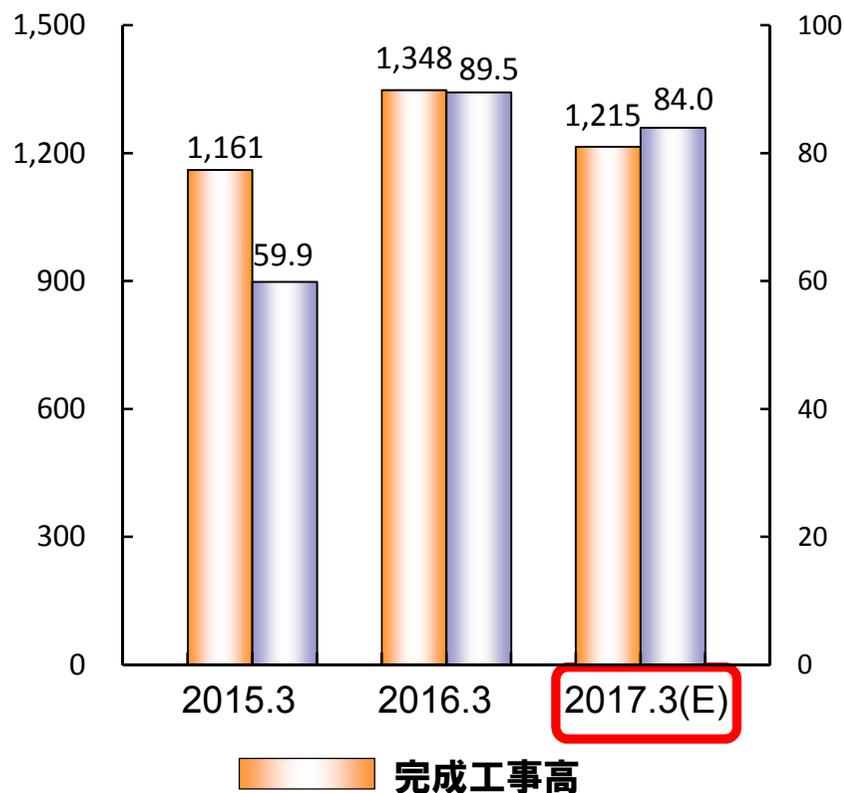


## 参考-5. 事業別の業績の推移②

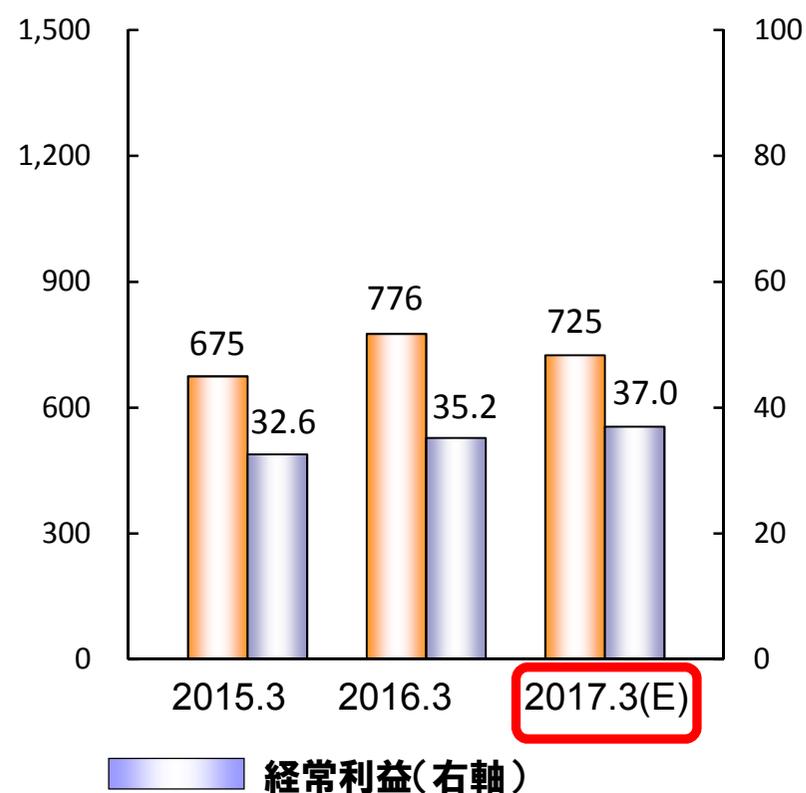
### 報告セグメントごとの売上高(完成工事高)及び経常利益

単位: 億円

環境システム事業部



塗装システム事業部



## 参考一6. 連結貸借対照表

単位:億円

科目	2015.3	2016.3	増減
<b>流動資産</b>	1,410	1,486	76
現金預金	438	440	1
受取手形・ 完成工事未収入金等	786	927	141
有価証券	45	0	△44
未成工事支出金及び 材料貯蔵品	34	21	△12
その他	111	101	△10
貸倒引当金	△5	△4	1
<b>固定資産</b>	472	408	△63
有形・無形固定資産	126	122	△4
投資有価証券	263	224	△39
その他	83	61	△21
貸倒引当金	△1	△0	1
<b>資産合計</b>	1,882	1,895	12

科目	2015.3	2016.3	増減
<b>流動負債</b>	780	834	54
支払手形・ 工事未払金等	456	492	35
未成工事受入金	114	159	44
工事損失引当金	2	1	△1
その他	206	181	△24
<b>固定負債</b>	105	101	△4
<b>負債合計</b>	886	936	50
<b>純資産</b>	996	959	△37
資本金	64	64	-
資本剰余金・利益剰余金	761	812	50
自己株式	△29	△51	△22
その他有価証券評価差額金	105	79	△26
繰延ヘッジ損益	△0	0	0
為替換算調整勘定	37	15	△22
退職給付に係わる調整累計額	7	△10	△18
少数株主持分	48	48	0
<b>負債純資産合計</b>	1,882	1,895	12

## 参考－7. 株価の推移

### 10年間の株価の推移



**(参考)アナリストカバレッジ**

当社の業績などを分析し、論評などを行なっている証券会社のアナリスト

- いちよし経済研究所  
溝口 陽子 氏
- SMBC日興証券  
川嶋 宏樹 氏
- 大和証券  
寺岡 秀明 氏
- 立花証券  
島田 嘉一 氏
- 野村證券  
前川 健太郎 氏
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券  
水谷 敏也 氏
- UBS証券会社  
渡辺 真理子 氏



## 将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社大気社 管理本部 広報課

TEL:03-5338-5052 FAX:03-5338-5195